

KERAFECT STRAIGHT ケラフェクト ストレート

酸性還元剤 と 活性ケラチン

ケラフェクトストレート は

新還元剤 チオグリコール酸システアミン と

活性ケラチン ファイバーハンス を配合 ※1剤 活性ケラチン 2剤 ファイバーハンス

アルカリ剤無配合 で 酸性 から アルカリ までのphを調整

用事調整無し で アルカリ～酸性矯正の施術が可能

伸びが良く 塗布すると溶けるように浸透していく ジェルクリーム基材

低分子 中分子の活性ケラチン を配合することで
通常の薬剤よりも ストレートの持続性 がアップ

KERAFFECT STRAIGHT

ケラフェクト ストレート

1剤4種 各1000g/¥6,800 2剤 1000g/¥3,800



1剤 /4.5/5.5/6.5/8

還元剤

チオグリコール酸システアミン
システアミン
チオ乳酸アンモニウム

有効成分

低分子活性ケラチン
中分子活性ケラチン

2剤 /No.2

ブロム酸

有効成分

ファイバーハンス

KERAFFECT STRAIGHT 0

ケラフェクト ストレート ゼロ 1000g/¥5,000



保護・減力剤

有効成分

レブリン酸
ジマレイン酸

使用用途

毛先の保護

1剤に混ぜて ph チオ換算の調整

ph 4.2

KERAFFECT STRAIGHT ph+

ケラフェクト ストレート

200ml/¥3,300



ケラフェクトストレート専用
phコントロール剤

有効成分

リシン(塩基性アミノ酸)

使用用途

ケラフェクトストレート8に
5%混ぜてph9に調整する

ph 10.3

G-conc 80%

ジーコンク 380g/¥5,500



有効成分

GMT チオグリコール酸グリセリル
濃度 80%

使用用途

ケラフェクトストレートに混ぜて
チオ換算を調整する

容量/サロン価/メーカー希望小売価格
(価格は全て税抜表記)

KERAFFECT®

KERAFFECT OIL
ケラフェクト オイル

150mlボトル/¥3,300/¥4,500 280mlレフィル/¥5,250/7,500



矯製中間処理 アウトバスオイル

有効成分

オイルケラチン
メドウフォームラクトン
アスタキサンチン

使用用途

矯正の中間処理で使用
水分コントロールをサポート
水分を残したい部分に塗布
アウトバスオイルとして使用

ケラフェクト ストレート 薬剤選定基本

毛髪のダメージレベル に合わせて 薬剤(ph) を選定します

ハイダメージ(ブリーチ等)	KS 4.5
ハイダメージ(カラー・パーマ履歴 多)	KS 5.5
ミドルダメージ(カラー・パーマ履歴 普通)	KS 6.5
ローダメージ	KS 8

薬剤スペック	pH	チオ換算値	アルカリ度
ケラフェクトストレート4.5	4.5	6.37%	0
ケラフェクトストレート5.5	5.5	6.37%	0
ケラフェクトストレート6.5	6.5	6.37%	0
ケラフェクトストレート8	8.2	6.37%	1.5
ケラフェクトストレート0	4.1	ダメージ部の保護剤の為無し	

ケラフェクトストレート薬剤スペック

	Ph	チオ換算 T G換算	アルカリ度	髪のダメージレベル
ケラスト 4.5	Ph 4.5	6.37 伸ばす力	0	ハイダメージ毛 (ブリーチ毛) ダメージLv 4~5
ケラスト 5.5	Ph 5.5			ハイダメージ毛 (カラー・パーマ層) DLv 4~5
ケラスト 6.5	Ph 6.5			ミドルダメージ毛 (カラー・パーマ層) DLv 3~4
ケラスト 8	Ph 8.2		1.5	ローダメージ毛 DLv 1~2
ケラスト 0	Ph 4.1	レプリン酸・ジマレイン酸配合の毛先の保護剤 4.5の減力、チオ換算値のダウンコントロールに使用		
ケラスト Ph+	Ph 10.30	塩基性アミノ酸を使用した ph コントロール剤 ST8に5%MIXでPh 9に調整可能		

MIX 1 : 1	Ph	チオ換算 T G換算	塗布量の目安 ショート ミディアム ロング
ケラスト 4.5 + 5.5	Ph 5	6.37	100 g
ケラスト 5.5 + 6.5	Ph 6		150 g
ケラスト 6.5 + 8	Ph 7.5		200 ~ 250 g

GMT in	Ph	チオ換算 T G換算	チオ換算 GMT T G換算 5%in	チオ換算 GMT T G換算 10%in
ケラスト 4.5	Ph 4.5	6.37 一般的な 日本人の クセは のばせる	8.16 少し強い クセを のばす	9.79 かなり強い クセを のばす
ケラスト 5.5	Ph 5.5			
ケラスト 6.5	Ph 6.5			
ケラスト 8	Ph 8.2			

※GMT15%in TG換算 11

※G-conc GMT濃度 80% チオ換算 44%

MIX パターン 1	比率	Ph	チオ換算 T G換算
ケラスト 4.5 + ケラスト 0	1 : 1	Ph 4.28	3.19
ケラスト 4.5 + ケラスト 0	2 : 1	Ph 4.34	4.25
ケラスト 4.5 + ケラスト 0	3 : 1	Ph 4.38	4.78

MIX パターン 2	比率	Ph	チオ換算 T G換算
ケラスト 5.5 + ケラスト 0	1 : 1	Ph 4.59	3.19
ケラスト 6.5 + ケラスト 0	1 : 1	Ph 4.80	
ケラスト 8 + ケラスト 0	1 : 1	Ph 5.25	

縮毛矯正 施術手順

①ドライカウンセリング



②プレシャンプー、ドライ

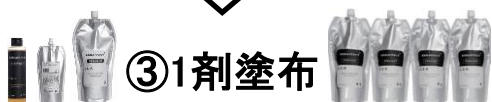
ダメージレベルによって
前処理をする

【推奨商品】

ケラフェクトコネクター



コネクター10倍希釈水を
毛先、ダメージ部位に塗布



③1剤塗布

1剤塗布はドライ塗布推奨
毛髪ダメージが目視しやすいので
薬剤の塗り分けがしやすい



④放置

放置タイム 15～30分

中性域～酸性域の場合
薬剤による軟化が無い

荒めのコームでコーミングして
クセが緩くなっていたら還元OK

◎還元チェック ×軟化チェック



⑤中間水洗

シャンプー剤を使用して泡立てて
薬剤を流すことを推奨

ジェルクリーム基材が
毛髪に残りやすいため

薬剤をお湯で流した後
1～2回の泡立てシャンプー
泡がしっかりとったら
薬剤残りが無い証



⑤ドライ※

コネクター10倍希釈水を
毛先、ダメージ部位に塗布

水分量を残したい部分に
ケラフェクトオイルを塗布する



※

ドライ時の 水分量の目安	ダメージ部分	健康部分
クセ強め	9割ドライ	8割ドライ
クセ弱め	完全ドライ	9割ドライ

8割ドライの目安

※あくまで目安です

ペーパーを載せて湿らないくらい



⑥アイロン

アイロン温度は180℃が基本
ダメージに合わせて調整可



⑦2剤塗布



⑧放置

放置タイム 15分



⑨流し

後処理

【推奨商品】

アシッドリンク



2剤流し後、全体に塗布して流す



⑩仕上げ



KERAFFECT STRAIGHT

ケラフェクトストレート 導入 価格提案

ケラフェクトストレート

通常の縮毛矯正料金に対して
+2割～3割の価格がオススメ

メニュー名 参考ワード

弱酸性 酸性ストレート 活性ケラチン ケラチンストレート トリートメントストレート ケアストレート
地毛風ストレート 髪質改善縮毛矯正 ブリーチ毛対応縮毛矯正 美髪矯正

既矯正部分をキレイに保つ メニュー提案

T3トリートメント

60分/8,000～10,000円

リタッチ矯正 + T3トリートメント

矯正 + 15分/+3,000～5,000円

T3トリートメント 施術工程

プレシャンプー
↓
コネクター10倍希釈 塗布
↓
上からケラスト0 塗布
↓
ラップをして10分加温
↓
流し
↓
アシッドリンク 塗布
↓
流し
↓
ドライ
↓
アイロン仕上げ

ケラスト0にケラスト4.5を配合して
チオ換算 を調整すれば
微還元の施術も対応可能

リタッチ矯正 + T3トリートメント

プレシャンプー
↓
既矯正部にコネクター10倍希釈 塗布
↓
根元 1剤 塗布
毛先 ケラスト0 塗布
↓
放置 流し
↓
ドライ
↓
アイロン
↓
根元に2剤塗布
↓
放置 流し
↓
アシッドリンク塗布
↓
流し
↓
仕上げ



毛先 KS6.5:5.5(1:1)
中間 KS4.5
毛先 KS0

根元 KS6.5:5.5(1:1)
毛先 KS4.5:0(1:1)



根元 KS8
中間 KS6.5:5.5(1:1)
毛先 KS0

根元 KS 6.5
中間 KS 4.5
毛先 KS 4.5:0(1:1)



根元 KS5.5
毛先 KS4.5:0(1:1)

根元 KS6.5(GMT5%)
中間 KS5.5(GMT5%)



根元 KS 6.5:5.5(1:1)
毛先 KS4.5



根元 KS8
中間 KS4.5
毛先 KSO



根元 KS6.5(GMT5%)
毛先 KS4.5



根元 KS 4.5
毛先 KS 4.5:0(1:2)+(GMT5%)



全体 KS8:KS6.5(1:3)
耳前の細い毛のみ KS6.5



根元 KS8





全体 KS5.5

根元 KS8
中間 KS5.5
毛先 KSO



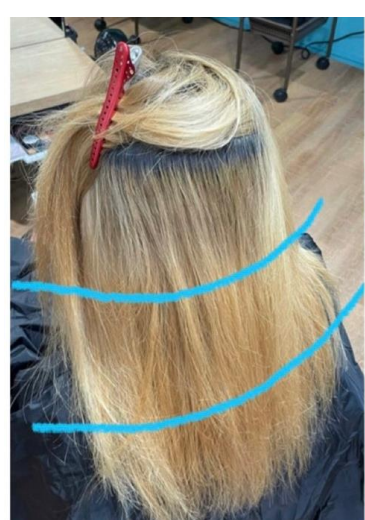
根元 KS8:6.5(1:1)
毛先 KSO

根元 KS5.5:4.5(1:1)
毛先 KSO



根元 KS5.5
中間 KS4.5
毛先 KS4.5:0(1:1)

根元 KS8:6.5(1:1)
中間 KS5.5
毛先 KSO



根元 KS4.5
中間 KS4.5:0(1:1)
毛先 KSO

根元 KS4.5
中間 KS4.5:0(1:1)
毛先 KS4.5:0(2:1)



根元 KS8
中間 KS6.5:5.5(1:1)
毛先 KSO

根元 KS6.5:5.5(1:1)
毛先 KS4.5



根元 KS8+(ph+ 5%)+(GMT10%)

根元 KS8+(ph+ 5%)+(GMT10%)

よくある質問

Q. phを試験紙で測ったのですが、商品説明にあるphと異なる気がするのですが？

A. 商品の各phは工場で計測した測定値です。工場製造時に必ず工場のph測定器で計測しております。使用に際して問題が無いことも確認済みです。

※市販のph試験紙は液体用ですので、ジェル状の商品の測定には正確性に欠ける部分があります。

Q. 他社の縮毛矯正剤と混ぜて使えますか？

A. 他社製品と混ぜての使用は、想定されておりませんのでおすすめいたしません。過去に混ぜてみた美容師様から、ダマダマになってしまったとご報告もあります。根本と毛先で使い分ける際も、オーバーラップは最小限にしてください。

Q. デジタルパーマ、つけデジでも使用可能ですか？

A. はい、ご使用可能です。

Q. カラーと同時施術は可能ですが？

A. 毛髪のダメージ具合によって大きく異なりますが、特別悪影響はありません。※同時施術をする場合は必ず、毛髪の状態を判断しての施術をお願い致します。

Q. 2剤は他社のでも大丈夫ですか？

A. 基本的にはケラフェクトストレートシリーズの2剤 ブロム酸をおすすめいたします。過水の2剤などを使用している美容師様もいらっしゃると思います。

Q. スピエラを入れて使用してもいいですか？

A. はい、ご使用可能です。

Q. GMTやスピエラを入れなくても癖は伸ばせますか？

A. クセの強さにもよりますが、入れないでも対応可能です。緩いSカール程度の癖は酸性域でも、単品で伸びるケースが多いです。

Q. ph+とGMTはどう使い分ければいいですか？

A. phの調整は毛髪ダメージに合わせて、チオ換算の調整は癖の強さに合わせて調整していただくようになっております。

健康毛で薬剤の浸透に時間がかかりそうな場合はph+

クセが強くてチオ換算6.37では伸ばせない場合はGMTを添加してください。

黒髪バージン毛でクセが強い場合などは、両方使う場合もあります。

Q. ケラフェクトストレートの施術後にトリートメントをしたらいつもより重くなった

A. ケラフェクトストレートの薬剤の極性がアニオンなのが理由と思われます。

ほとんどのトリートメントは極性がカチオンですので、普段より食いつきが増えて重たかったりべたつきがある仕上がりになった可能性があります。

普段より塗布量を控えていただくか、インバストリートメントを使用せずにアウトバストリートメントで仕上げていただくと良いと思います。

Q. ケラフェクトストレートの1剤を流した後に髪の毛がきしむのは何が原因ですか？

A. ケラフェクトストレートの1剤に含まれる活性ケラチンの効果で
中間水洗時にきしみがでます。ダメージ毛であれば、より感じやすいです。
次の施術に支障をきたすほどであれば、軽くトリートメントでチェンジリンスを
しながら、きしみを取ることをおすすめいたします。

Q. ハイライトやメッシュが入っている方の、薬剤選定はどうすればいいですか？

A. ポイントカラーやセクションカラーなど、分け取れる場合は分け取って
それぞれの毛髪に合わせて薬剤を塗り分けてください。
細かく入っていて分け取れない場合は、最もダメージしている毛髪に合わせて
薬剤選定をしてください。

Q. 施術をする際、ツイングブラシは必須ですか？

A. 必須ではありません。
仕上がりでキレイな面を出したい、アイロン時に適度なテンションを与える
毛量調整などで出来ためくれる短い毛を整えられるというメリットがあって
ツイングブラシをご使用される美容師様が多いです。

Q. 酸性矯正でもビビリ毛になりますか？

A. はい、酸性矯正でもビビリ毛になる可能性はあります。
酸性矯正をする場合は、ダメージ毛への施術が多いと思います。
ダメージに対して適切なpHの薬剤を選べても、チオ換算が高すぎると
毛髪に過度な負担がかかりビビリ毛の原因になります。
また、酸性矯正は酸化不足によるダメージが多く見受けられます。
1剤をしっかり流すことと、2剤の放置時間を規定時間よりも短縮しないように
気を付けてください。

Q. ケラフェクトストレートでビビリ直しは出来ますか？

A. なにが原因でのビビリ毛にもよるかと思いますが、なんとも申し上げにくい
部分がございます。申し訳ございません。
アルカリ矯正でのビビリ毛に対して、アプローチするために
酸性域の1剤をご使用されるかたはいらっしゃるかと思いますが。

Q. ケラフェクトストレートで一部ビビリ毛になってしまいました 何が原因ですか？

A. 薬剤選定での原因として考えられるのは
①pHが高い ②チオ換算が強い ③放置時間が長い

他に原因で考えられるのは

①ダメージ部分なのに水分を残し過ぎてアイロンしたため
②1剤を流し切れておらず、そこにアイロンしたため
全体的にはキレイなのに、一部分だけ予想外なところが
ビビリ毛になってしまっているような状況であれば②の原因が予想されます。